

蔵王地域の小中学生の樹氷教室に参加しました

令和3年7月7日(水)、蔵王温泉に所在する併設校である山形市立蔵王第三小学校・第二中学校が開催された「樹氷教室」に、山形署職員が講師として参加し、アオモリドマツ(別名オオシラビソ)の枯損被害等について一緒に学びました。

蔵王地域の国有林では、近年、アオモリドマツが虫害のため集団的に枯損する被害が発生し、多くの方からご心配をいただいています。そのような中、蔵王三小の先生から、児童・生徒の皆さんによる地域学習の一環として、樹氷や蔵王の自然を学ぶに当たり、当署が行っているアオモリドマツ再生への取組についてお話する機会をいただいたものです。

当日は、蔵王第三小学校の教室にうかがい、当署の五十嵐地域林政調整官が枯損被害の状況や、自生した稚樹を被害跡地に試験移植していることなどを説明したあと、蔵王ロープウェイで山頂に登り、蔵王のアオモリドマツの様子を見学していただきました。その後、既に綿密な事前学習に取り組んできた蔵王二中の生徒さん方も山頂に登られ、同じように現地の様子等を見学していただきました。

あいにくの雨の中ではありますが、試験移植箇所で小さいながらも根付いている稚樹の様子を見て、小学生は「今年伸びたところの緑色がきれい」と感想を聞かせてくれました。中学生は、被害木の取り扱いや苗木の成長を促す方法など鋭い視点から多くの質問をしてくれました。

アオモリドマツの再生には長い年月が必要となりますが、地域を担う地元の児童・生徒さんたちの熱心な姿勢に、職員も大いに勇気をもらいました。是非、再生したアオモリドマツと樹氷を見ていただけるように、いまできることにしっかり取り組んでいく考えです。

